牛活行動援助方法Ⅱ 演習ルーブリック 1年後期

学習目標

- 1. 対象者へのより良い看護援助が実施できる。
 - 1)対象者の置かれている状況をふまえて看護援助を計画できる。
 - 2) 看護援助のための一つひとつの行為の意味(根拠)を説明できる。
 - 3)良好なコミュニケーション*を通して、他者と協力できる。

- * 良好なコミュニケーション
- 適切にアイコンタクトをとっている
- 話す速度が速すぎたり遅すぎたりしない。
- 声の大きさが小さすぎたり大きすぎたりしない。
- 話し手の話をさえぎらない。
- ・自由に語れるオープンクエスチョンを適切に織り交ぜる。
- ・関心を持ち、受容的な態度で聴く。

				レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
1	対象の	承	対象者の置かれている状況を 理解し、必要な看護援助を見 出すことができる。	対象者の状況を、事実に基づいて正し く理解し、必要な看護援助を適切な言 葉で説明できる。	対象者の状況をおおむね理解し、必要な看護援助を説明できる。	対象者を理解する視点が狭いが、必 要な看護援助の説明はできる。	対象者の理解が不足しており、必要な看護援助があやふやである。
2	理解と計画立案	計	看護援助を行うにあたり、看護師としての行為の順序や方法について、その意味(根拠)を説明できる。	全般にわたって、看護師としての行為 を具体的に記述し、行為の順序や方 法についてその意味を説明できる。	全般にわたってとは言えないにせよ、 看護師としての行為を具体的に記述 し、行為の順序や方法についてその意 味を説明できる。	看護師としての行為を具体的に記述しているが、行為の順序や方法の意味の記述が1か所しかない。	看護師としての行為の記述が抽象的で、したがって行為の順序や方法の意味(根拠)の記述にいたらない。
3		案		より良い援助を実施するために、起こりうることを十分に想定し、それに基づいていくつかの行為の選択肢を準備している。		より良い援助にしようとする意識はあるが、起こりうることの想定がされておらず、行為の選択肢は一つである。	より良い援助にしようとする意識が低く、参考資料のままの計画となっている。
4	. 看 .	観察	対象者の反応を意識的に観察 し、それが意味することを理解 できる。	常に対象者に関心をもち援助の実施前、実施中、実施後を通して、対象者の反応を意識的に観察し、その結果を援助に反映できる。	対象者に関心をもち、援助に際して対象者の反応を意識的に観察するが、その結果を援助に反映するには至らない。	援助に際して必要最小限の観察を行うが、対象者の反応の観察は断片的で意味の理解は浅い。	対象者に関心がなく、観察ができない。
5	看護援助の実施	助	通して、対象者にとってより良	良好なコミュニケーションを通して、対象者の気持ちや援助者としての自己の改善点に気づき、改善できる。		良好なコミュニケーションをとろうとし、 対象者の気持ちや援助者としての自 己の改善点に気づくが、気づくことにと どまっている。	良好なコミュニケーションがとれず、対象者の気持ちや援助者としての自己 の改善点に気づくことができない。
6	טע	フレクショ	の印象的なエピソードを取り上 げ、看護についての視野の広	演習を通して体験した印象的なエピソードを具体的に取り上げリフレクションすることによって、科目の開始前と終了後における自分の考えの変化を2つ以上説明できる。	ンすることによって、科目の開始前と	演習を通して体験した印象的なエピ ソードを具体的に取り上げ、自分の思 考に与えた影響を説明できる。	演習を通して体験した印象的なエピ ソードが思いつかない。したがって、視 野の広がりや思考の深まりが説明できない。
7	グルー プ活動	ダーシ	忍耐強く協力的な態度を持ち続け、必要に応じてリーダーシップ(メンバーシップ)を発揮し、目的達成に協力できる。	異なる意見を聴く姿勢をもち、目標達成に向けてリーダーシップを発揮する。、周囲への気配りをし、準備や後片付け、清掃を率先して行う。	表明し、協力する。周囲への気配りが	意見はあまり表明しないが、目標は理解している。周囲への気配りがあり、 指摘を受けると、後片付けや清掃を しっかり行う。	準備や片づけを手伝わなかったり、不 作法な態度をとったりし、他人に迷惑 をかけることがある。